

学校だより

令和6年5月
金沢高等学校

「Respect Each Other ～生徒一人ひとりの人格や個性を尊重した指導を目指して～」

本校では令和3年度より、「学びに向かう力の育成～主体的に自分の頭で考える～」を最重要課題として、すべての教育活動において実践することを継続しています。また、令和6年4月には生徒一人ひとりの人格や個性を尊重した指導を目指すことを再確認するため、「Respect Each Other」と題したマニュアルを策定しました。大枠としては人権を尊重した教育活動、魅力ある授業や指導力を身につける研修、人と人とのつながりを大切にした「共育」の実践、という3点にまとめられます。生徒・教職員すべてが学校生活全般において互いを認め合い尊重できる環境になることを目指して取り組んでいます。

さて、新年度が始まり2ヶ月が経過しました。この間の学校生活の過ごし方は学年や個人によっても異なっていたのではないのでしょうか。学習と生活の自己点検と評価（振り返り）を継続して行ってください。定期的な振り返りが次のステップにつながります。また、来る5月30日より県高校総体と総合文化祭が開催されます。これまで取り組んできたことの集大成の場として、全力で表現してもらいたいと思います。金沢高等学校全体で参加する皆さんを応援しています。

副校長 日吉 正

【総合的な探究の時間】

本校では、「総合的な探究の時間」について学年ごとにねらいを設定して取り組んでいます。1年次には探究の流れやスキルを学び、2年次には前年度に学んだことを活かしながら時間をかけて探究活動に取り組めます。そして3年次には自身の学びや経験を表現できるようにします。

3年間の中核となる2年次では、連携大学の先生方に年間を通じてサポートしていただける体制が整っています。生徒は「ウェルビーイングが実現される学校とは（教育学分野）」など、20の分野から興味のあるものを選択し、さまざまな課題を設定し探究活動を行っていきます。各大学の専門性に触れ、自身の進路選択や生き方に活かしてくれることを願いながら、今後も探究活動に力を入れていきたいと考えています。

【定期考査の有効活用】

定期考査は、学習の進捗や理解度を把握し、成長の機会として活かすための重要なツールです。定期考査には、教科書で学ぶ基礎的な知識を問う「知識・技能」と、身につけた知識の活用を問う「思考・判断・表現」が出題されています。「知識・技能」の得点が低ければ日頃の授業の受け方や復習の仕方を見直し、「思考・判断・表現」の得点が低ければ問題演習の量を増やしてみましょう。点数に一喜一憂せず、現在の取り組みを少しずつよりよい方向に修正していきましょう。家庭学習にあたっては、学習の開始時間を決め、授業の振り返りはすぐに行うようにしてはみてはいかがでしょうか。

【遠足に行ってきました (5/1)】

(1年学年会より)

福井県の芝政ワールドと東尋坊に行きました。曇り空で肌寒い日でしたが、笑顔で楽しんでいる様子が印象的でした。遠足を通して、クラスの親睦を深める良い機会になりました。



(2年学年会より)

岐阜県飛騨高山の町並み散策を行いました。事前学習で学んだことを活かしながら「古い街並み」と風情ある町家で食べ歩きなどを楽しみました。修学旅行に向けて、時間を守ることの大切さを感じました。



(3年学年会より)

福井県の恐竜博物館と越前大野城に行きました。朝方に降っていた雨も到着時には晴れ、リニューアルした恐竜博物館では最新の技術で復元された恐竜を見た後、周辺の散策を行いました。大野城では急坂を登るのが大変でしたが、頂上での景観をクラスメートと楽しむことができました。

